

こども新聞
週刊

がほピョンプレス

毎週日曜発行
2026 9/20

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



日本三景・松島の魅力を探る

ニュース



こども記者が取材



五大堂（奥）について稲富さんに取材するこども記者

宮城県松島町は日本三景・松島があり、多くの観光客が訪れます。地元おとしの小学6年生3人が「こども記者」として、町のシンボルの存在である瑞巖寺ずいがんじの「五大堂」と祈りの島「雄島」を取材し、知られざる魅力みりよくを

五大堂は1604年、伊達政宗だてまさむねが元々毘沙門堂びしゃもんどうがあった場所に建立けんりつしました。瑞巖寺ずいがんじの僧侶そうりょ、稲富慶雲いなとみけいうんさん(49)は「政宗公は関ヶ原の戦いの前

3人は、松島一小の蜂谷拓久はちやたくとさん(12)、松島二小の樋口未唯ひぐちみい那なさん(11)、松島五小の飯嶋榮いはいしめいとさん(11)です。

探りました。

(8面に関連記事)

信仰を集めた霊場 実感



松島は観光地として有名になる以前、人々の信仰を集める霊場れいじょうでした。中でも雄島は、あの世と

3人は五大堂をじっくり見ながら、新しく知ったことをメモしました。

松島は観光地として有名になる以前、人々の信仰を集める霊場れいじょうでした。中でも雄島は、あの世と

5体の明王像は秘仏とされ、33年に1度しか拝めないので、元々は朱色のお堂だったこと、干支が彫られていること。

3人は五大堂をじっくり見ながら、新しく知ったことをメモしました。

松島は観光地として有名になる以前、人々の信仰を集める霊場れいじょうでした。中でも雄島は、あの世と

に戦勝祈願きがんに來ました。戦いに勝ち、感謝の気持ちでお堂を建てたのです」と教えてくれました。不動明王ふどうみょうおうなど5体の明王像をまつていることから五大堂と名付けられました。正面に掲げられた額には「五太堂」とあります。「当時の住職が遊び心で書いたのでしよう」と稲富さんは推察します。

この世を結ぶ島と言われています。



雄島では12世紀、見仏上人けんぶつじょうにんという僧侶が12年間修行に励み、神通力しんつうりきを手にし、奇跡を起こしたと言われている。瑞巖寺宝物館の新一浩さん(61)は「今で言う超能力者です。能登半島に瞬間移動したという話も残っています」と話しました。雄島は見仏上人がいたことから「御島」と呼ばれ、いつの間にか雄島となりました。

雄島から見える景色は、当時の人々にとって極楽浄土ごくらくじょうどでした。見仏上人がいた島に埋葬すれば極楽浄土に行けると、火葬骨を島に埋める行為が広まりました。3人は、地面にある白いかけらが骨と知り、驚いていました。

島には石で作られた供養塔、板碑が多く残っています。3人は島を歩きながら、祈りの島であることを実感しました。

この日 何の日

◇20日（日） バスの日

1903年のこの日、京都市で初めてバスが運行されました。現在のバスではなく、運転手も入れて定員6人の蒸気自動車を改造した車両でした。これを記念して、1987年に制定されたんだよ。

きょうの紙面

- 2面 世界へんてこ建物ツアー
- 3面 連載「古代のモンスター」
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 今週の英語News
- 7面 投稿特集
- 8面 こども記者が新聞作成

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ